

令和5年 消防統計

第45回防火防災ポスターコンクール

最優秀賞

【仙南地域広域行政事務組合理事長賞】



角田小学校 5年 よこやま りん 横山 凜 さん

令和6年刊行

仙南地域広域行政事務組合消防本部

目 次

【火災統計】

火災統計の概要	1
1. 月別火災発生状況	2
2. 市町別火災発生状況	3
3. 時間別火災発生状況	4
4. 曜日別火災発生状況	5
5. 原因別火災発生状況及び損害額	6
6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移	7

【救急統計】

救急統計の概要	8
1. 月別救急活動状況	9
2. 市町別救急活動状況	10
3. 市町別医療機関収容状況（搬送人員）	11
4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況	12
5. 年齢区分別搬送状況	13
6. 傷病程度別搬送人員	14
7. 救急隊員の行った応急処置状況	15
8. 高速道路救急出動状況	16
9. 高速道路市町別出動状況	16
10. 応急手当講習会等の概要	17
11. ドクターヘリ要請・搬送状況	18

【救助統計】

救助統計の概要	19
1. 月別救助出動・活動状況	20
2. 市町別救助出動・活動状況	21
3. 救出所要時間状況	22
4. 救助活動に使用した器具機材	22

【通信統計】

通信統計の概要	23
1. 総受信状況	24
2. 119番受付状況（災害種別）	24
3. 119番年間受付状況（固定電話と携帯電話別）	25
4. 119番以外による災害受付状況	25
5. 消防テレフォンサービス利用状況	25

火災統計の概要

1. 出火件数

令和5年における出火件数は、86件で前年(66件)に比べて20件の増加となっている。これを、月当たりの出火件数で見ると平均7.2件となり、約4日に1件の割合で火災が発生したことになる。

この出火件数を火災種別ごとにみると、建物火災が38件と最も多く、全火災の44.2%を占め、次いでその他の火災が32件(37.2%)、林野火災が11件(12.8%)、車両火災が5件(5.8%)の順となっている。

また、月別にみると、1月と3月が13件と最も多く、次いで4月が11件、2月が10件の順となっている。

2. 焼損程度

焼損棟数は57棟で、前年(79棟)に比べて22棟の減少となっており、1件当たりの建物火災で約1.5棟が焼損したことになる。

また、建物火災における焼損面積は3,275㎡で、前年(5,464㎡)に比べて2,189㎡の減少となり、1件当たりの焼損面積は86.2㎡となる。

林野火災における焼損面積は128aで、前年(43a)に比べて85aの増加となっている。

3. 死者及び負傷者

火災による死者は4人で、前年(4人)と同数となっている。

負傷者については12人で、前年(9人)に比べて3人の増加となっている。

4. り災世帯数及びり災人員

り災世帯数は、22世帯で前年(30世帯)と比べて8世帯の減少となっている。

り災人員は51人で、1世帯当たり2.3人がり災している状況となっている。

5. 損害額

損害額は223,893千円で、前年(327,538千円)に比べて103,645千円の減少となっている。

種別ごとにみると、建物の損害が212,328千円と全体の94.8%を占め、車両の損害が6,904千円(3.1%)、その他の損害が3,436千円(1.5%)、林野の損害が1,225千円(0.6%)の順となっている。

6. 出火原因

出火原因別で見ると、たき火による火災が14件、電灯・電話等の配線が7件、次いでたばこ、電気機器、火入れ、放火がそれぞれ6件の順となっている。

1. 月別火災発生状況

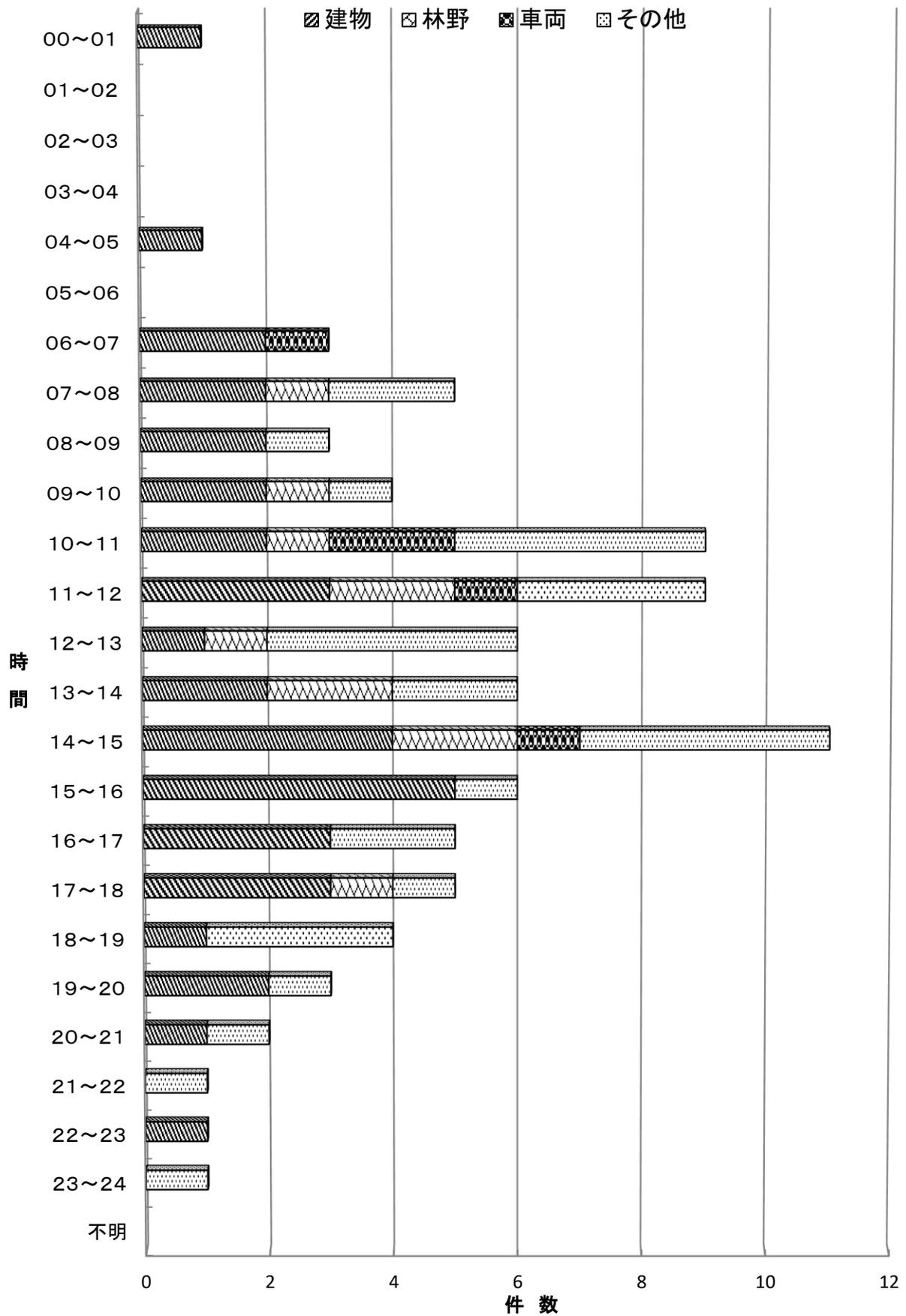
区分 月別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死 者	負 傷 者	り災世帯数				り 災 人 員	損 害 額 (千円)						放 水 火 災 件 数	放水 台数		出 動 人 員		
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (㎡)	林 野 (a)			計	全 損	半 損	小 損		計	建 物		林 野	車 両	そ の 他		爆 発	消 防 署		消 防 団	署 員 団 員
																					建物	収容物									
1月	13	6	1		6	6	4		1	1	537	6		2	2	1		1	8	69,532	65,438	3,620	270	8	196		10	20	2	123 130	
2月	10	6			4	12	8	1	2	1	854	11	1	3	7	4	1	2	17	58,599	46,727	10,763		157	952		9	22	7	184 305	
3月	13	3	1	1	8	5	3			2	335	4			1	1			1	4,351	1,502	591		205	2,053		10	19	2	147 154	
4月	11	2	4	1	4	2			1	1	2	91								4,935		97	98	4,740			9	21	11	152 258	
5月	8	3	3	1	1	7	6			1	666	8	1	3	2	1		1	3	8,538	6,610	620	845	360	103		7	15	7	138 107	
6月	2	2				2		1		1	57									1,928	1,850	78					1	4	2	19 60	
7月	3	2		1		2	1			1	15	4	1	1			1	3	3	1,355	57	248		1,050			2	3		25 34	
8月	7	5	1		1	9	3		2	4	304	4	3	4	2		2	11	39,799	30,255	9,443	12	88	1		5	11	1	83 64		
9月	5	2			3	3	1		2		182				2	2		2	9,703	9,048	653			2		5	6	2	64 77		
10月	3		1		2														2						2	1	2		11 23		
11月	6	3		1	2	3	2		1		130		2	1	1		1	3,009	2,480	106		296	127			3	5	1	83 186		
12月	5	4			1	6	3			3	193				2		2	5	22,142	16,784	5,358					4	8	1	62 94		
合計	86	38	11	5	32	57	31	2	9	15	3,275	128	4	12	22	12	1	9	51	223,893	180,751	31,577	1,225	6,904	3,436		66	136	36	1,091 1,492	
前年	66	38	6	7	15	79	41	2	19	17	5,464	43	4	9	30	14	1	15	81	327,538	261,429	56,835	2,841	4,474	1,959		44	94	47	944 1,207	

2. 市町別火災発生状況

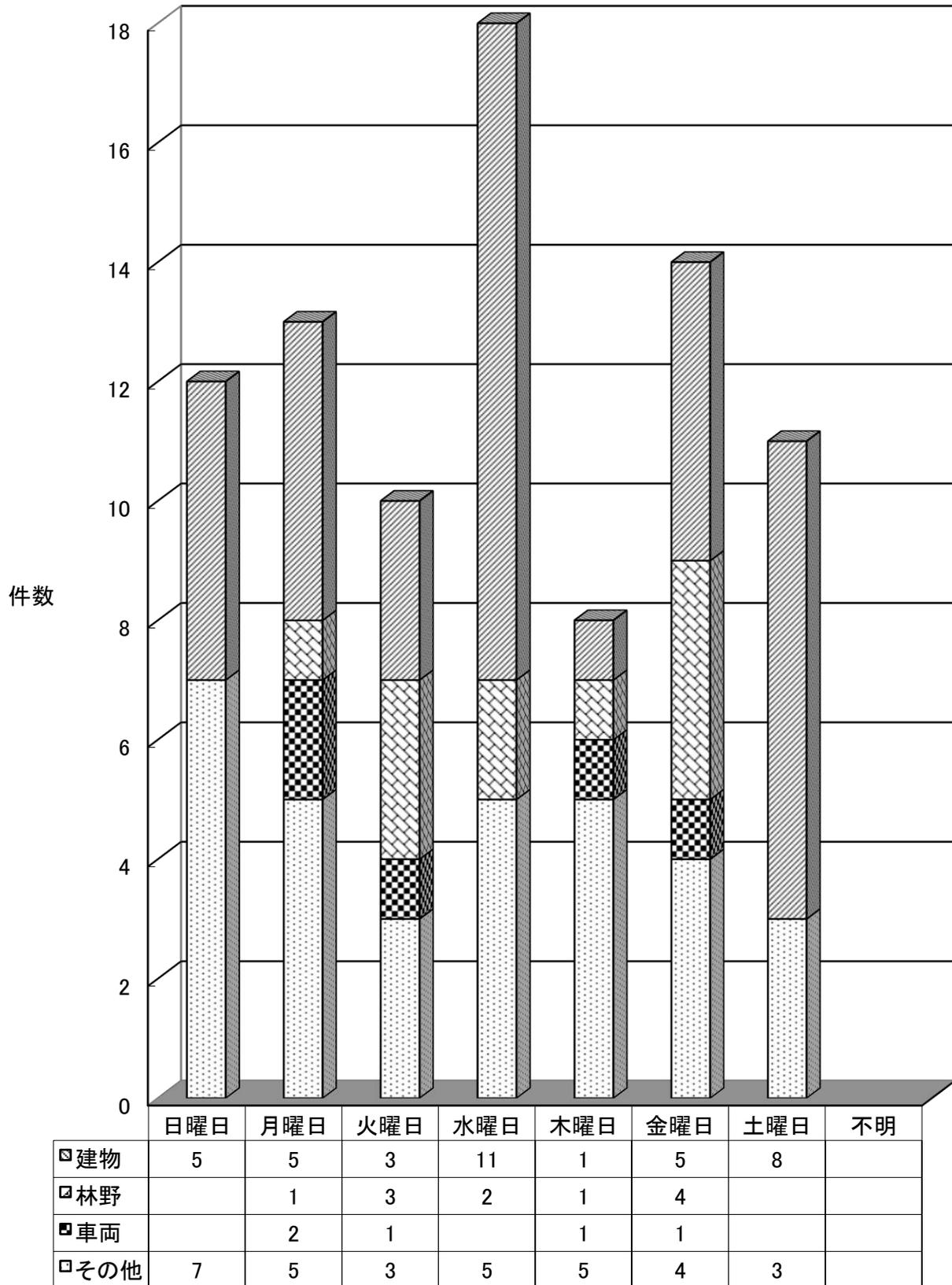
区分 市町別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死 負 傷 者	り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)						出 火 率 (件)						
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (㎡)	林 野 (a)				計	全 損	半 損	小 損	建 物			林 野	車 両	そ の 他	爆 発		
																				建 物	収 容 物							
白石市	20	10	1	2	7	13	8	1	1	3	1,374	10	1	4	6	3	1	2	13	70,959	61,693	6,913		1,255	1,098		6.4	
角田市	16	3	4	2	7	10	7		2	1	744	5	1	3	4	3		1	10	49,925	34,265	9,156	145	5,188	1,171		5.9	
蔵王町	6	3	1		2	5	2	1	2		175	7	1	1						3,905	3,028	177	700				5.4	
七ヶ宿町																												
大河原町	8	7			1	12	6		2	4	343		1	5	1		4	13	47,292	34,009	12,990		8	285		3.4		
村田町	5	2	2		1	3	3				116	10		1	1			1	2,004	1,296	359	339		10		5.0		
柴田町	17	6	1	1	9	6			1	5	3	4	3	2			2	7	638	62	254	12	296	14		4.6		
川崎町	7	2	1		4	2	1			1	3	92							1,308	108	185		157	858		8.6		
丸森町	7	5	1		1	6	4		1	1	517		1	4	4			7	47,862	46,290	1,543	29				5.9		
合計	86	38	11	5	32	57	31	2	9	15	3,275	128	4	12	22	12	1	9	51	223,893	180,751	31,577	1,225	6,904	3,436		5.3	
前年	66	38	6	7	15	79	41	2	19	17	5,464	43	4	9	30	14	1	15	81	327,538	261,429	56,835	2,841	4,474	1,959		4.0	

※出火率とは、人口1万人に対する火災発生件数(令和5年12月末の住民基本台帳より)

3. 時間別火災発生状況



4. 曜日別火災発生状況



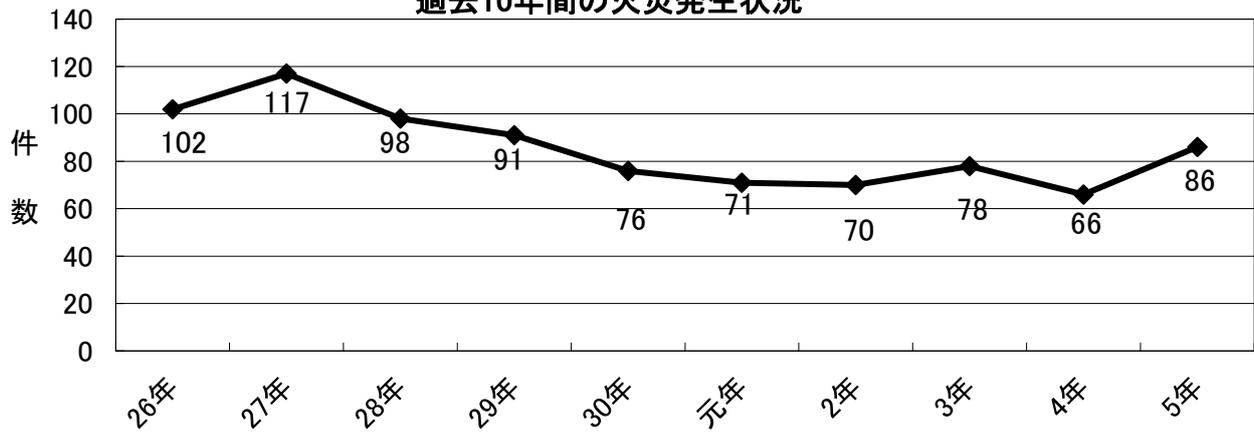
5. 原因別火災発生状況及び損害額

原因	令和5年		令和4年	
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
たき火	14	3,588	6	20,727
電灯・電話等の配線	7	40,765	1	2,873
たばこ	6	14,627	5	31,126
電気機器	6	1,334	4	24
火入れ	6	1,326	2	0
放火	6	182	3	941
配線器具	2	39,210	1	46,763
取灰	2	22,029	3	10,520
電気装置	2	1,107	3	29,366
放火の疑い	2	214	2	0
こんろ	2	1	5	16,560
灯火	1	11,419		
排気管	1	4,740	1	550
溶接機・切断機	1	564	2	42
焼却炉	1	270	2	3,040
マッチ・ライター	1	177	2	2
かまど	1	120		
ストーブ			2	49,798
炉			2	551
衝突の火花			1	100
火遊び			1	10
風呂かまど			1	6
煙突・煙道				
内燃機関				
こたつ				
ボイラー				
その他	19	6,375	11	46,074
不明・調査中	6	75,845	6	68,465
合計	86	223,893	66	327,538

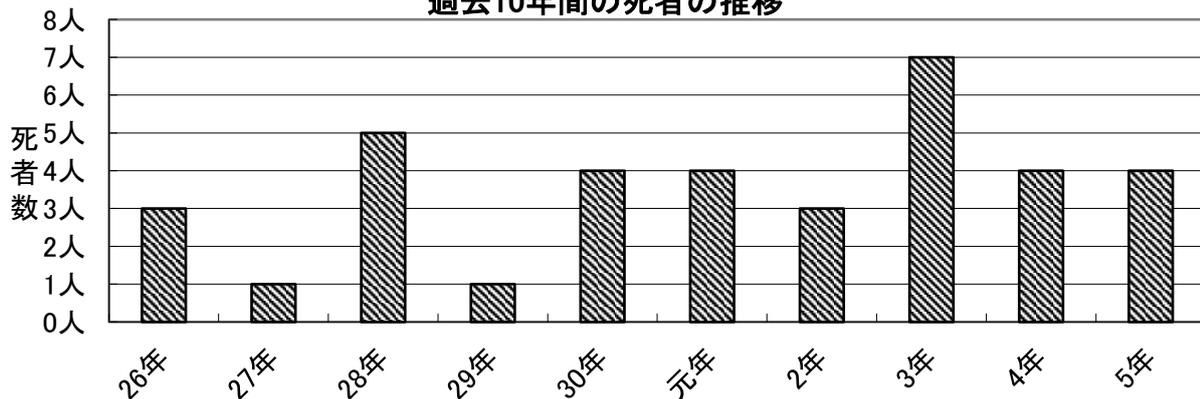
6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移

市町別	年別	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	合計
白石市	火災	25	24	20	12	21	17	13	11	7	20	170
	死者	1		1		3		1	1	2	1	10
角田市	火災	22	16	16	11	13	12	8	13	15	16	142
	死者						2		1	1	1	5
蔵王町	火災	11	30	13	11	7	6	8	15	8	6	115
	死者								1		1	2
七ヶ宿町	火災	1	1	1	3	1	1	2	1	1		12
	死者											
大河原町	火災	4	6	5	7	3	4	6	2	4	8	49
	死者		1			1	1					3
村田町	火災	13	12	16	15	8	6	11	11	9	5	106
	死者	2		3				1	1			7
柴田町	火災	8	10	9	10	9	8	10	11	8	17	100
	死者							1	1			2
川崎町	火災	11	14	11	13	7	8	3	9	5	7	88
	死者								1			1
丸森町	火災	7	4	7	9	7	9	9	5	9	7	73
	死者			1	1		1		1	1	1	6
合計	火災	102	117	98	91	76	71	70	78	66	86	855
	死者	3	1	5	1	4	4	3	7	4	4	36

過去10年間の火災発生状況



過去10年間の死者の推移



救急統計の概要

1. 出動件数と搬送人員

令和5年の救急出動件数は、9,065件で前年(8,718件)に比べて347件(4.0%)の増加となり、搬送人員については、7,427人で前年(7,217人)に比べ210人(2.9%)の増加となっている。

事故種別の出動件数は、急病が6,060件と最も多く全体の66.9%を占め、次いで一般負傷1,143件(12.6%)、転院搬送1,032件(11.4%)、交通事故491件(5.4%)の順となっている。

2. 市町別出動件数及び搬送人員

市町別の出動件数及び搬送人員では、白石市が最も多く2,022件の出動で1,731人を搬送しており、次いで柴田町1,685件(1,250人)、角田市1,439件(1,228人)、大河原町1,281件(1,028人)の順となっている。

3. 覚知からの現場到着時間及び収容時間

覚知から現場到着までの所要時間をみると、5分～9分が4,030件と最も多く全体の44.5%を占め、次いで10分～19分が3,982件(43.9%)、20分以上が759件(8.4%)の順となっており、現場到着までの平均時間は11.2分で前年(12.0分)と比較し0.8分短縮している。

覚知から収容までの所要時間をみると、30分～59分が4,838件と全体の65.1%を占め、次いで60分～119分が1,707件(23.0%)、20分～29分が762件(10.3%)の順となっており、収容までの平均時間は49.9分で前年(50.6分)と比較し0.7分短縮している。

4. 救急隊員の応急処置状況等

救急隊員が応急処置を行った傷病者数は7,427人であり、応急処置総件数は30,507件で、傷病者1人に対し4種類以上の応急処置を行ったことになる。

その内容は、血中酸素飽和度測定7,213件、血圧測定7,076件、その他(体温測定等)7,004件の順となっており、心肺蘇生法を実施した件数は225件であった。

心肺機能停止だった傷病者のうち、医師引継ぎ時に心拍が再開し入院となった人が27人(前年14人)、1ヶ月後生存11人(前年5人)、社会復帰者は7人(前年4人)となっている。

また、救急救命士が医師の指示に基づき実施した救急救命処置の延べ数は395件となっている。

5. 高速自動車道における出動件数及び搬送人員

出動件数は45件で、東北自動車道34件、山形自動車道11件となっている。また、搬送人員は37人で、軽症20人、中等症16人、重症1人、死亡0人となっている。

1. 月別救急活動状況

月別	事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			一日平均
	区分	合計											転院搬送	医師搬送	その他	
1	出動件数	756	3			27	6	2	100	2	10	524	81		1	24.4
	搬送人員	591				15	5	1	79	1	7	403	80			19.1
2	出動件数	648	9			33	5	2	80	1	6	433	79			23.1
	搬送人員	518	1			22	5	2	65		5	339	79			18.5
3	出動件数	640	4			38	5	2	80		7	417	86		1	20.6
	搬送人員	521				31	5	2	62		4	332	85			16.8
4	出動件数	618	1			33	11	4	82	3	3	415	65	1		20.6
	搬送人員	507				31	10	3	66		1	332	64			16.9
5	出動件数	676	4			37	5	5	90	2	6	453	73	1		21.8
	搬送人員	581	2			31	4	4	84	1	5	377	73			18.7
6	出動件数	686	1		2	56	8	10	74		9	445	81			22.9
	搬送人員	594			1	43	8	9	61		5	386	81			19.8
7	出動件数	973	2		1	41	11	12	116	4	12	653	119	2		31.4
	搬送人員	805	1			33	11	11	96	3	7	525	118			26.0
8	出動件数	995	3			39	25	7	88	1	13	737	82			32.1
	搬送人員	779	2			35	24	5	72		9	551	81			25.1
9	出動件数	808	3		1	41	11	4	98	2	6	572	68		2	26.9
	搬送人員	620				33	9	4	76	1	3	426	68			20.7
10	出動件数	746				51	8	6	111		12	446	108	1	3	24.1
	搬送人員	636				41	7	5	96		8	372	107			20.5
11	出動件数	689	3			49	7	8	101	1	7	434	78		1	23.0
	搬送人員	584				37	7	7	86	1	2	367	77			19.5
12	出動件数	830	2			46	5	1	123		9	531	112		1	26.8
	搬送人員	691				43	4	1	106		7	420	110			22.3
合計	出動件数	9,065	35		4	491	107	63	1,143	16	100	6,060	1,032	5	9	24.8
	搬送人員	7,427	6		1	395	99	54	949	7	63	4,830	1,023			20.3
前年	出動件数	8,718	40	15	11	479	78	59	1,079	15	109	5,802	1,010	4	17	23.8
	搬送人員	7,217	8	12	5	395	69	55	878	6	56	4,728	1,005			19.7

2. 市町別救急活動状況

市町別 区分		白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	管轄外	合計	前年	
		事故 種別 救急 出動 件数	火災	10	6	3		5	2	3	2	4		35
自然災害												0	15	
水難	1			1	1			1				4	11	
交通事故	82		71	39	4	70	63	96	28	28	10	491	479	
労働災害	16		11	12	2	10	6	24	15	11		107	78	
運動競技	9		8	10		2	9	18	6	1		63	59	
一般負傷	235		176	102	17	152	85	210	77	88	1	1,143	1,079	
加害	1					6	2	6		1		16	15	
自損行為	35		13	4	1	18	4	19	3	3		100	109	
急病	1,337		990	478	59	762	395	1,209	315	511	4	6,060	5,802	
その他	転院搬送		296	164	40	7	254	20	99	93	59		1,032	1,010
	医師搬送				1		1	1		2			5	4
	その他				1	1	1			2	3	1	9	17
計	2,022		1,439	691	92	1,281	587	1,685	543	709	16	9,065	8,718	
事故 種別 搬送 人員	火災	1	3			1		1				6	8	
	自然災害											0	12	
	水難	1										1	5	
	交通事故	63	55	36	2	54	50	76	24	28	7	395	395	
	労働災害	16	9	11	2	9	6	21	15	10		99	69	
	運動競技	8	6	9		1	9	15	5	1		54	55	
	一般負傷	199	157	93	13	118	74	156	66	72	1	949	878	
	加害					4	1	2				7	6	
	自損行為	18	9	2		14	3	14	2	1		63	56	
	急病	1,132	827	363	45	575	317	866	261	442	2	4,830	4,728	
	その他	293	162	40	7	252	19	99	93	58		1,023	1,005	
	計	1,731	1,228	554	69	1,028	479	1,250	466	612	10	7,427	7,217	

3. 市町別医療機関収容状況(搬送人員)

発生市町別	収容先市町別 搬送人員	院等収容率 発生市町内病	市町別収容医療機関																	広域圏外収容率	
			白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	仙台市	名取市	岩沼市	多賀城市	塩竈市	県北	亘理郡	福島県		山形県
白石市	1,731	42.4%	734	2	3		784		2	2		106	19	17				1	60	1	11.8%
角田市	1,228	19.3%	112	237			701		7		9	68	20	56				13	5		13.2%
蔵王町	554	2.7%	199		15		279			6		35	7	8					3	2	9.9%
七ヶ宿町	69	1.4%	29			1	24					5							1	9	21.7%
大河原町	1,028	64.6%	123	14	4		664	1	7	10	3	159	10	30			1	1	1		19.6%
村田町	479	0.4%	87	2	2		324	2	3	7		35	4	11				1	1		10.9%
柴田町	1,250	3.0%	157	9			749	1	37	1		77	22	196				1			23.7%
川崎町	466	24.2%	13				204			113		119	4	7			1		2	3	29.2%
丸森町	612	22.5%	48	35			294				138	39	3	19				10	26		15.8%
管轄外	10		1				2					2							3	2	70.0%
計	7,427		1,503	299	24	1	4,025	4	56	139	150	645	89	344			2	27	102	17	
搬送率		83.5%	20.2%	4.0%	0.32%	0.01%	54.2%	0.05%	0.8%	1.9%	2.0%	8.7%	1.2%	4.6%			0.03%	0.36%	1.4%	0.23%	16.5%

4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況

種別 市町別	覚 知 か ら 現 場 到 着							覚 知 か ら 収 容 時 間 (搬 送 人 員)							
	3 分 未 満	3~4 分	5~9 分	10~19 分	20 分 以 上	計	平均 時 分	10 分 未 満	10~19 分	20~29 分	30~59 分	60~119 分	120 分 以 上	計	平均 時 分
白 石 市	13	36	1,090	718	165	2,022	10.6	0	23	216	1,161	318	13	1,731	46.8
角 田 市	12	68	608	656	95	1,439	10.9	0	4	57	849	309	9	1,228	52.4
蔵 王 町	3	5	131	464	88	691	13.8	0	0	18	353	173	10	554	56.2
七ヶ宿町	0	2	45	37	8	92	11.7	0	0	0	15	51	3	69	78.7
大河原町	4	56	607	581	33	1,281	9.8	0	4	226	671	122	5	1,028	42.1
村 田 町	7	10	266	271	33	587	10.8	0	2	40	331	101	5	479	49.3
柴 田 町	2	23	847	728	85	1,685	10.4	0	3	147	922	174	4	1,250	44.6
川 崎 町	2	4	237	219	81	543	12.6	0	6	38	253	165	4	466	55.9
丸 森 町	6	41	199	307	156	709	14.1	0	4	20	282	286	20	612	63.8
管 外	0	0	0	1	15	16	26.8	0	0	0	1	8	1	10	78.6
計	49	245	4,030	3,982	759	9,065	11.2	0	46	762	4,838	1,707	74	7,427	49.9

5. 年齢区分別搬送状況

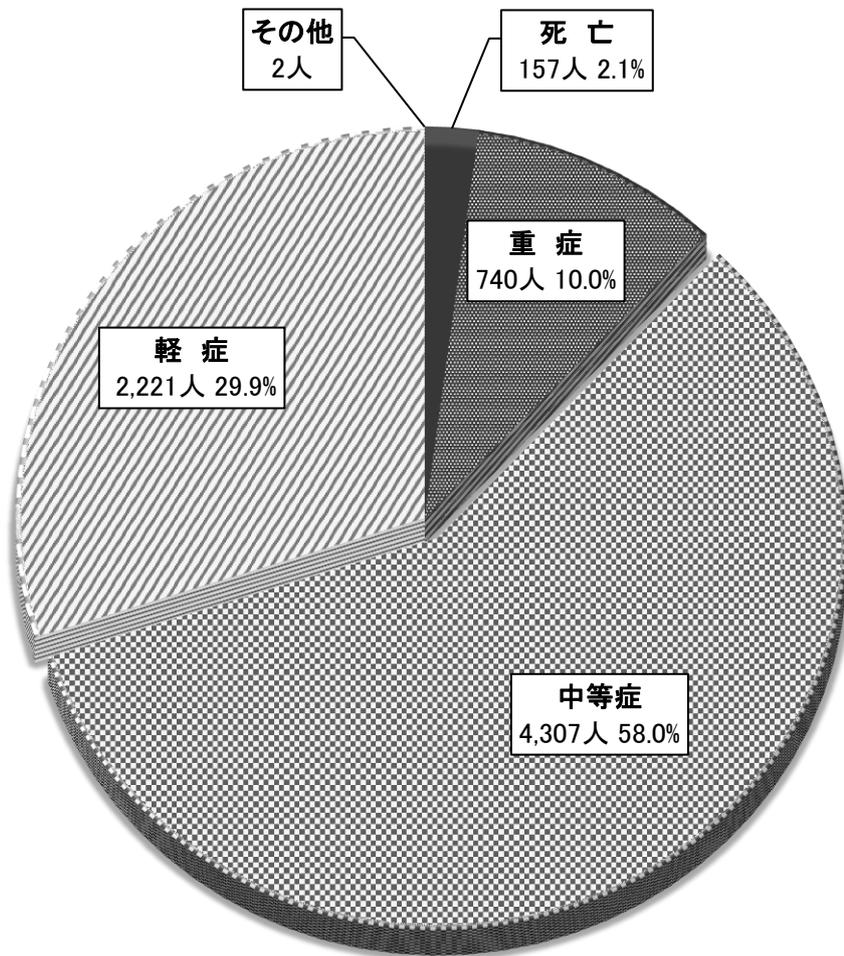
種別 年齢	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 ・ そ の 他	合 計
新生児										1	4	5
乳幼児				4			27			169	10	210
7～17				32		22	28		5	87	12	186
18～24				58	11	13	18	3	15	96	19	233
25～34				53	10	8	11		10	168	20	280
35～44	2			36	13	2	25	1	11	194	30	314
45～54	1			44	22	2	41	1	7	274	59	451
55～64	2			43	18	5	69	1	4	370	74	586
65～74			1	68	19	1	188		6	865	210	1,358
75歳以上	1			57	6	1	542	1	5	2,606	585	3,804
合計	6		1	395	99	54	949	7	63	4,830	1,023	7,427
前年	8	12	5	395	69	55	878	6	56	4,728	1,005	7,217

※その他の件数は、転院搬送を含む。

6. 傷病程度別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡			1	27	129	157
重症	1	2	3	126	608	740
中等症	3	89	72	951	3,192	4,307
軽症	1	119	110	759	1,232	2,221
その他				1	1	2
合計	5	210	186	1,864	5,162	7,427

【参考】新生児：生後1カ月未満、乳幼児：生後1カ月～6歳、少年：7歳～17歳、
成人：18歳～64歳、高齢者：65歳以上



7. 救急隊員の行った応急処置状況

事故種別 応急処置種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	前年
応急処置対象人員	4,830	395	949	1,253	7,427	7,217
止血	35	30	125	31	221	155
固定	13	152	120	54	339	300
人工呼吸	11			4	15	15
胸骨圧迫						
心肺蘇生	195	6	11	13	225	214
うち自動心臓マッサージ	(124)	(3)	(6)	(10)	(143)	(119)
酸素吸入	932	24	44	272	1,272	1,277
気道確保	216	6	14	18	254	233
うち経鼻エアウェイ	(1)				(1)	
うち異物除去			(1)		(1)	(1)
うち食道閉鎖式	(86)	(1)	(4)	(5)	(96)	(76)
うち気管挿管	(4)		(2)	(1)	(7)	(4)
保温	300	20	49	67	436	463
被覆	24	65	202	41	332	277
在宅療法継続	11		1	1	13	15
除細動	32	1			33	16
静脈路確保(CPA前)	100	4	7	3	114	81
静脈路確保(CPA後)	85	2	4	7	98	84
薬剤投与 (アドレナリン)	51	2	1	2	56	51
薬剤投与 (エピペン)						1
薬剤投与 (ブドウ糖溶液)	24				24	18
血圧測定	4,551	387	914	1,224	7,076	6,881
心音呼吸音の聴取	703	91	74	107	975	804
血中酸素飽和度測定	4,652	389	932	1,240	7,213	7,016
血糖測定	121	1	8	1	131	126
心電計による観察	3,425	134	346	771	4,676	4,267
うち心電図伝送	(255)		(2)	(54)	(311)	(322)
その他	4,542	369	908	1,185	7,004	6,947
合計	20,023	1,683	3,760	5,041	30,507	
前年	19,325	1,613	3,425	4,860		29,223

※網掛け部分については、救急救命士が行うことが出来る救急救命処置

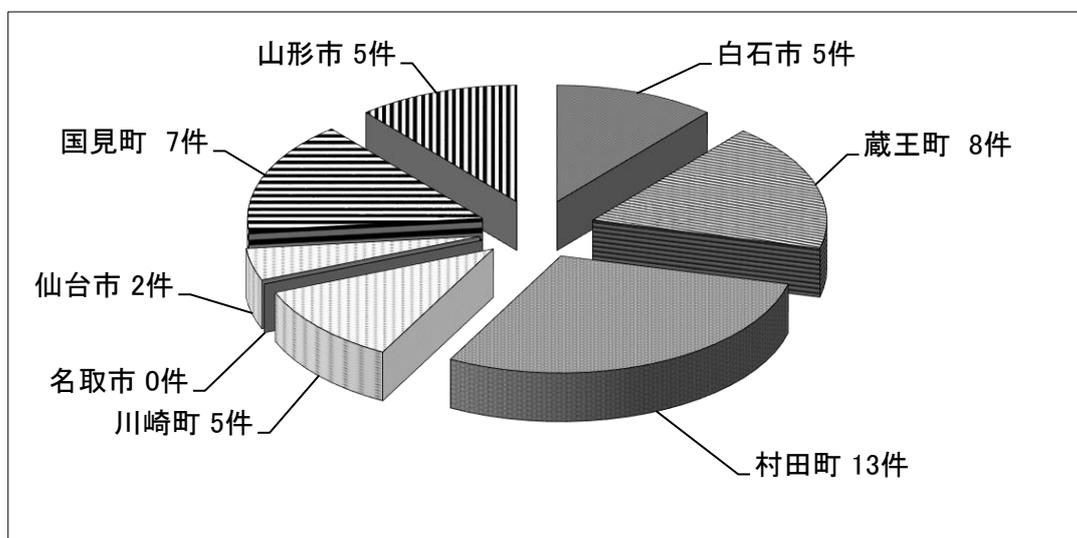
※()内は内訳

8. 高速道路救急出動状況

種別 月別	出 動 件 数						搬 送 人 員						傷病程度					性別		
	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	計	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	男	女
1				2		2				2			2			2			2	
2																				
3		1				1							2							
4				1		1														
5		4				4		3					3		1	1	1		1	2
6		5				5		1					1			1			1	
7		6	1	3		10		6	1				7			4	3		7	
8		1		2		3		1		1			2				2		2	
9		4		2		6		7		2			9			3	6		4	5
10		8		1		9		9		1			10			5	5		9	1
11				3		3				3			3				3		2	1
12																				
計		29	1	14		1	45	27	1	9			37		1	16	20		28	9
前年	2	23		24			49	16		18			34	1	2	14	17		28	6

9. 高速道路市町別出動状況

東北自動車道 34 件
山形自動車道 11 件



10. 応急手当講習会等の概要

令和5年における応急手当普及啓発活動状況は、普通救命講習会・上級救命講習会・
 応急手当講習会等を実施し、延べ4,134名が受講しました。

講習種別	受講者数	講習回数	内容
普通救命講習会 (3時間講習)	1,467 名	116 回	心肺蘇生法(主に成人対象)、AEDの使い方、異物除去法、大出血時の止血法等、救命手当について学びます。
上級救命講習会 (8時間講習)	74 名	6 回	普通救命講習の内容に加えて、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法等を学びます。
救命入門コース (1.5時間講習)	91 名	5 回	小学校高学年から中学生の方、これから普通救命講習を受講される方等を対象とした、胸骨圧迫やAEDの使い方を中心に学ぶコースです。
応急手当普及員講習会 (教員向け…2日間講習) (一般向け…3日間講習)	0 名	0 回	学校や事業所等で応急手当を普及していただける方を養成するための講習です。講習修了者には普及員認定証が交付されます。(隔年開催のため、R5年は実施なし。)
応急手当普及員再講習会 (3時間講習)	46 名	3 回	前回の応急手当普及員講習受講日から3年以内に再度受講する方のための講習です。
応急手当講習会 (3時間未満講習)	2,456 名	113 回	救急講話や外傷の処置など、時間や内容について受講者の希望に沿った形で開催します。
合計	4,134 名	243 回	

11. ドクターヘリ要請・搬送状況

目 市町別	項	要請件数	搬送件数 (うちヘリ搬送)	不搬送件数
白石市		22	22(11)	1
角田市		26	21(7)	5
蔵王町		18	14(8)	4
七ヶ宿町		2	2(1)	
大河原町		2	2(0)	
村田町		18	17(7)	1
柴田町		5	5(2)	
川崎町		22	19(10)	3
丸森町		20	19(12)	1
合計		135	121(58)	15

救助統計の概要

1. 出動件数・活動件数・救助人員

令和5年の救助出動件数は、103件で前年(124件)に比べて21件の減少となり、救助活動を行った件数は、47件で前年(69件)に比べて22件の減少となっている。

また、救助人員は50人で、前年(76人)に比べて26人の減少となっている。

事故種別ごとにみると、交通事故56件(活動24件・救助人員27人)で最も多く、次いでその他の事故23件(活動12件・救助人員12人)、建物等による事故13件(活動5件・救助人員5人)、機械等による事故6件(活動2件・救助人員2人)、水難事故5件(活動4件・救助人員4人)の順となっている。

2. 市町別救助出動件数及び救助人員

市町別の救助出動件数及び救助人員では、白石市が最も多く22件の出動で13人を救助しており、次いで蔵王町16件(6人)及び大河原町16件(3人)、村田町12件(7人)の順となっている。

3. 救出所要時間

現場に到着してから救出にかかった所要時間をみると、10分未満が19件で最も多く、次いで10～19分が14件、30～59分が5件、20～29分及び60～119分がそれぞれ4件、120分以上が1件の順となっている。

1. 月別救助出動 ・ 活動状況

区分 月別	事故種別出動 ・ 活動件数 ()内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害	よ機 る械 事故に	よ建 る物 事等に	酸ガ 欠ス 事及 故び	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害	よ機 る械 事故に	よ建 る物 事等に	酸ガ 欠ス 事及 故び	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計
1		(2) 5				1			(2) 6		2								2	
2		(2) 3			1	(1) 3			(3) 7		2				1				3	
3		1				1		(1) 2	(1) 4									1	1	
4		(2) 5			(1) 2	1		(1) 1	(4) 9		3			1				1	5	
5		(1) 3						1	(1) 4		1								1	
6		(1) 7	(2) 3					(1) 2	(4) 12		2	2						1	5	
7		(3) 9			(1) 1	1		(2) 2	(6) 13		4			1				2	7	
8		(2) 3			1	(2) 2		(2) 4	(6) 10		2				2			2	6	
9		(2) 3	(1) 1					(2) 3	(5) 7		2	1						2	5	
10		(3) 6	(1) 1					(2) 5	(6) 12		3	1						2	6	
11		(3) 6			1	(2) 2		(1) 1	(6) 10		3				2			1	6	
12		(3) 5				2		2	(3) 9		3								3	
合計		(24) 56	(4) 5		(2) 6	(5) 13		(12) 23	(47) 103		27	4		2	5			12	50	
前年		(29) 61	(8) 9		(2) 2	(12) 22		(18) 30	(69) 124		34	8		2	13			19	76	

2. 市町別救助出動 ・ 活動状況

区分 市町別	事故種別出動 ・ 活動件数 ()内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害等	よ機 る械 事等に	よ建 る物 事等に	酸ガ 欠ス 事及 故び	爆 発事 故	そ の他 の事 故	計	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害等	よ機 る械 事等に	よ建 る物 事等に	酸ガ 欠ス 事及 故び	爆 発事 故	そ の他 の事 故	計
白石市		(7) 14	(2) 2			(2) 4			(1) 2	(12) 22		8	2			2			1	13
角田市		(4) 5				(1) 1			(2) 2	(7) 8		5			1				2	8
蔵王町		(2) 9	(1) 1		3				(2) 3	(5) 16		3	1						2	6
七ヶ宿町		(1) 2	1							(1) 3		1								1
大河原町		(1) 7			(1) 1	(1) 4			4	(3) 16		1			1	1				3
村田町		(4) 7	(1) 1		1				(2) 3	(7) 12		4	1						2	7
柴田町		(4) 5				2				(4) 7		4								4
川崎町		3				(1) 1			(3) 6	(4) 10					1				3	4
丸森町		(1) 3			(1) 1	1			(2) 3	(4) 8		1			1				2	4
管外		1								1										
合計		(24) 56	(4) 5		(2) 6	(5) 13			(12) 23	(47) 103		27	4		2	5			12	50
前年		(29) 61	(8) 9		(2) 2	(12) 22			(18) 30	(69) 124		34	8		2	13			19	76

3. 救出所要時間状況

時間 事故種別	救出に要した時間別件数						
	10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上	計
火災							
交通事故	11	10	2			1	24
水難事故	1		1	2			4
自然災害							
機械事故		1		1			2
建物事故	3	1	1				5
ガス酸欠							
爆発事故							
その他	4	2		2	4		12
合計	19	14	4	5	4	1	47

4. 救助活動に使用した器具機材

使用器具機材	使用回数																							
	車載クレーン	車載ウインチ	可搬ウインチ	ワイヤー	大型油圧機	バックボード	舟形担架・平担架	ガラス切断機	空気切断機	空気拡張機	保護材・あて木	万能斧	鉄線カッター	レスキューナイフ	救命ふか	救命ボート	救助用胴衣	投光器	救助ロープ各種	カラビナ・滑車	縛り帯等	各種梯子	空気の呼吸器	その他
				1	5	24	9	1			3	2					5	5	10	3	1	4		16

通 信 統 計 の 概 要

1. 総受信状況

令和5年の受付総数は、13,432件で前年（12,463件）に比べて969件増加となり、内訳は119番通報による受付が11,891件（88.53%）と最も多くなっている。次いで、その他の通報による受付が994件（7.40%）と続いており、一日あたりの受付件数については36.8件となっている。

2. 119番受付状況（災害種別）

119番受付件数は、11,891件で前年（11,001件）に比べて890件増加となり、災害種別ごとにみると、救急が8,359件（70.30%）と最も多くなり、次いでその他の災害が200件（1.68%）、火災が65件（0.55%）の順となっている。

3. 119番通報の固定電話と携帯電話別受付状況

119番受付件数の電話種別ごとにみると、固定電話のうち、NTT加入電話による通報が2,815件で前年（2,830件）に比べて15件減少となり、IP電話による通報が3,274件で前年（3,153件）に比べて121件増加となっている。

携帯電話による通報は、5,802件で前年（5,018件）に比べて784件増加となっている。

※ IP電話とは、インターネット技術を利用した回線の電話である。

4. 119番以外による災害受付状況

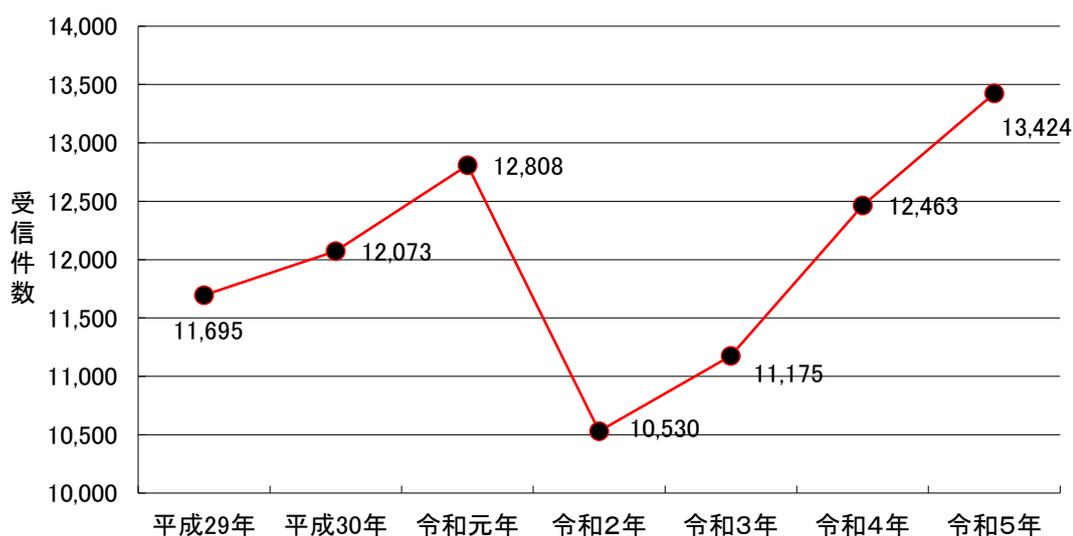
119番通報以外による災害受付件数は、1,541件で前年（1,462件）に比べて79件増加となっている。入電種別ごとにみると、最寄りの消防署へ直接電話をする加入電話が463件と全体の30.05%となり、次いで直接消防署へ駆け付けての通報が46件（2.99%）、自己覚知が24件（1.56%）の順となっている。

5. 消防テレホンサービス利用状況

消防テレホンサービスの利用状況については、170,310件で1日平均466.6件の問い合わせがあり、前年（180,667件）より10,357件の減少となっている。

1. 総受信状況

区分	年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	構成比 (%)
119番通報		10,132	10,364	10,904	9,345	10,018	11,001	11,891	88.58%
加入電話		524	446	500	408	447	553	463	3.45%
警察電話		22	16	16	8	2	9	2	0.01%
NEXCO専用線		27	17	19	7	20	14	12	0.09%
自己覚知		56	52	53	27	17	22	24	0.18%
駆け付け		48	53	48	58	44	36	46	0.34%
その他		886	1,125	1,268	677	627	828	986	7.35%
合計		11,695	12,073	12,808	10,530	11,175	12,463	13,424	
1日平均		32.0	33.1	35.1	28.8	30.6	34.1	36.8	



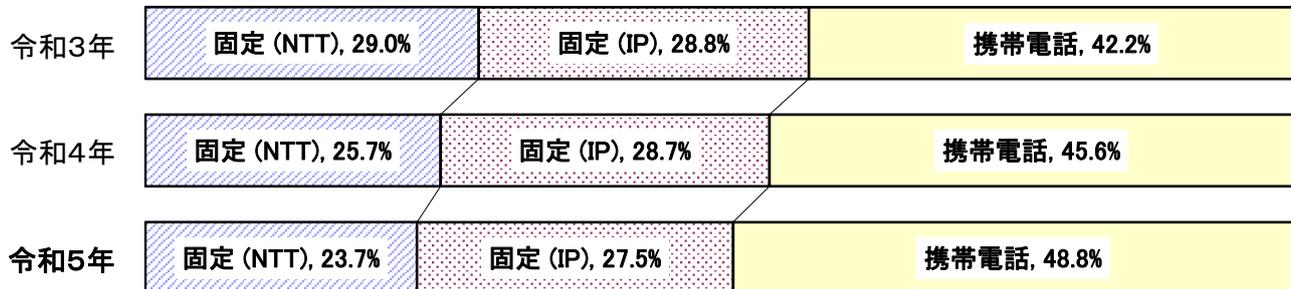
2. 119番受付状況(災害種別)

区分	年	令和3年		令和4年		令和5年		前年比 (件)
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
災害	火災	195	1.9%	131	1.2%	65	0.55%	-66
	救急	7,265	72.5%	8,348	75.9%	8,359	70.30%	11
	その他の災害	180	1.8%	183	1.7%	200	1.68%	17
災害以外	問い合わせ	256	2.6%	319	2.9%	276	2.32%	-43
	間違い	409	4.1%	361	3.3%	733	6.16%	372
	いたずら	101	1.0%	40	0.4%	54	0.45%	14
	通報訓練	964	9.6%	924	8.4%	1,015	8.54%	91
	回線試験	162	1.6%	139	1.3%	134	1.13%	-5
	その他	486	4.9%	556	5.1%	1,055	8.87%	499
合計		10,018		11,001		11,891		890

3. 119番年間受付状況(固定電話と携帯電話別)

		令和3年		令和4年		令和5年	
		件数	比率	件数	比率	件数	比率
固定	NTT	2,910	29.0%	2,830	25.7%	2,815	23.7%
	IP	2,881	28.8%	3,153	28.7%	3,274	27.5%
携帯		4,227	42.2%	5,018	45.6%	5,802	48.8%
合計		10,018		11,001		11,891	

※IP電話: インターネット技術を利用した回線の電話。



4. 119番以外による災害受付状況

	火災		救急		その他の災害		計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
加入電話	8	9	344	276	154	178	553	463
警察電話			4	1	5	1	9	2
NEXCO 専用線	2		9	5	2	7	13	12
駆け付け			32	44	4	2	36	46
自己覚知	2		15	22	5	2	21	24
その他	7	13	130	193	488	788	830	994
計	19	22	534	541	658	978	1,462	1,541

5. 消防テレホンサービス利用状況

	令和3年	令和4年	令和5年
着信件数	177,052	180,667	170,310

仙南消防本部消防テレホンサービス
TEL0570-550-911